

花と緑の基本計画

2013-2023

～ 緑あふれ花かおる

かんきょう

～ 歓響都市守口をめざして～



Liquidambar formosana

平成 26 年 3 月

守 口 市

緑あふれ花かおる かんきょう 歓響都市守口をめざして



守口市長 西端 勝樹

守口市は、古くは淀川に面した宿場町として栄えたまちで、淀川の豊かな水で育った田畑などの緑のなかに農業を営む集落が点在する水と緑に囲まれたまちでしたが、大阪市に隣接するなどの利便性から宅地化が進み人口も増加するなど高度成長の過程で、淀川河川公園や鶴見緑地など大規模な緑はあるものの、市街地の緑は徐々に失われていきました。

しかし、平成2年、鶴見緑地で開催された「国際花と緑の博覧会」を契機に、市民の皆様や民間事業者の間で花と緑への関心が高まったことにより徐々に緑が回復して参りました。

また、平成13年には、緑化の推進や緑地の保全に関する基本計画である「守口市花と緑の基本計画」を策定し、市民の皆様、民間事業者、行政が共に緑化に取り組んできましたが、計画の策定から10年以上が経過し、その間、関連上位計画などが見直しされたことなどを受け、本計画の改定を行いました。

今後、本計画に基づき、「緑あふれ花かおるかんきょう歓響都市守口」をめざして、市民の皆様とともに緑化に取り組んで参りたいと考えておりますので、今後ともご理解ご協力をお願いいたします。

最後に、本計画の策定にあたり、貴重なご意見やご提言をいただきました市民の皆様、ご協力いただきました全ての関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

平成26年3月